

インフォメーション

春夏製品のご案内

こでちゃん 牛もつ炒め

コクのある牛もつを使用し、調理ソースの原料もこだわり、さらにおいしくなりました。野菜たっぷりのおかずが、フライパンひとつで簡単に出来上がります。



こでちゃん牛もつ炒め 旨みしょう油味



こでちゃん牛もつ炒め 旨み醤油味



こでちゃん牛もつ炒め コク味噌味

麺と合わせて、ホルモン焼そばなどのメニューにも！

こでちゃん[®] 新発売 にんにく塩味

ローストガーリックを使用したあっさりながらもコクと旨みのあるたれに2種類のペッパーを加え、風味よく仕上げました。



株主ご優待のお知らせ

エスフーズが株主の皆さまだけにお届けします。

ご優待内容

■2月末の株主さま

◎2,000株以上保有の株主さま

「10,000円相当の国産牛肉、または、国産豚肉」

◎500～1,999株保有の株主さま「3,000円相当の自社製品」

※上記の国産牛肉（豚肉）および自社製品は11月にお送り致します。

■2月末、8月末の株主さま

◎100株以上保有の株主さま一律「自社グループオリジナル商品特別販売」

※6月、11月に対象株主さまにカタログをお送り致します。

国産牛肉（和牛） 弊社が厳選した国産牛肉の逸品。しゃぶしゃぶ、ステーキいずれか、株主さまのご指定のカットでお届けします。



しゃぶしゃぶ



ステーキ

※写真はイメージです。料理写真の野菜、什器等はご優待セットには含まれておりません。

会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc.(コード番号2292東証1部)
設立	昭和42年5月22日
代表者	代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容 (グループ)	食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業

株式メモ

■事業年度	3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日	2月末日
■中間配当金受領株主確定日	8月31日
■定時株主総会	毎年5月
■株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 ☎0120-782-031 (通話無料)
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払いの配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所	東京証券取引所
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■単元株式数	100株

【特別口座の口座管理機関変更に関するご案内】

2016年5月25日をもって、特別口座の口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社から三井住友信託銀行株式会社へ変更いたしました。



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)
http://www.sfoods.co.jp/



SFoods News

平成28年2月期

平成27年3月1日～平成28年2月29日



代表取締役社長
村上 真之助

事業の概況についてのご報告

当連結会計年度における日本経済は、中国経済の失速や中東・欧州での政情不安などによる世界的な景気低迷の影響を受け、一進一退ながらも輸出企業を中心に業績に陰りが見られ始めました。円安

によるインバウンド効果は一部業界を活気づけましたが、全体的には国内消費に伸びが見られず、また年度後半には、それまで持ち直しつつあった株価が下げ基調に転じ、先行きに不安感が伴う状況となりました。食肉業界においては、原材料の高騰により利益確保が困難な環境に陥っております。

このように経済の先行きが不透明な状況において、当社グループは、食肉の生産から小売・外食までの食肉に関わる事業を一貫して取り組む垂直統合を推進することにより、経営体質の強化と安定的な成長を志向しております。

食肉等の製造・卸売事業においては、生産事業では、昨年5月に北海道において、豚のと畜と加工を行う日高食肉センターが稼働を始めました。また、豚の飼育を行う千歳の新農場も完成し、豚肉事業の一貫経営体制が整いました。高品位豚肉ブランド「ゆめの大地」

として全国的に展開して行きます。卸売事業においては、当社の得意とする銘柄牛の市場への浸透と販売促進に努めました。また、海外事業部を発足させ和牛を中心とする国産牛の輸出先の新たな開拓と当社ブランド牛の普及に努めました。昨年12月には米国中堅パッカー・AURORA PACKING COMPANY, INC. をグループに加え、高品位の米国産牛の調達網を強化しました。今後オリジナルブランドとしてオーロラビーフを国内及びアジア市場に広めて行きます。



ゆめの大地

製造事業については、一昨年グループに加わった株式会社フードリエとの事業協力を進めてまいりましたが、その相乗効果が徐々に実を結びつつあります。また、同社を中心に、ハム・ソーセージ事業の強化に取り組みました。「こてっちゃん」ブランドの活性化を図るため、シリーズ製品のラインアップ強化にも努めました。



AURORA PACKING COMPANY

食肉等の小売事業においては、既存店活性化、新店の確実な立ち上げ、不採算店の閉鎖を継続するとともに、さらなる競争力向上のための人材開発等施策にも取り組んでまいりました。

食肉等の外食事業においては、焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業とステーキレストランチェーン事業のそれぞれにおいてメニュー及び料金の改定や店舗リニューアル等、競争力向上のための施策を実施しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,425億6千6百万円(前連結会計年度比13.3%増)、営業利益は84億2千8百万円(前連結会計年度比2.4%増)、経常利益は87億9千5百万円(前連結会計年度比2.3%増)、当期純利益は50億8千6百万円(前連結会計年度比17.1%増)と増収増益になりました。

今後の見通し

日本経済の見通しについては、世界的な景気不透明感の広がりを受け、将来に対する楽天的な先行き予測は影を潜めつつあります。食肉業界においても、原料価格が上昇する中で如何に低価格志向の消費者の嗜好をつかんで行くか、今後さらに高度な経営判断が求められることとなります。このような環境下、当社グループは、きめ細かな得意先対応と経営効率の改善によりマーケットシェアの拡大と収益の確保を図ってまいります。食肉等の製造・卸売事業においては、国内食肉については最上流の

生産事業の強化を図りつつ、当社グループの扱う食肉のブランド力を生かした販売戦略を進めて行きます。輸入食肉については、昨年12月にグループ化したAURORA PACKING COMPANY, INC. の経営基盤の強化と「オーロラビーフ」ブランドの日本及びアジアでの普及に努めます。また、更なる調達ルートの充実に努め、安定的な商品供給の仕組みを構築して行きます。海外事業については、アジアでの日本産農産物に対する需要の高まりを実際の商取引に繋げるべく、きめ細かな営業を進めて行きます。



こてっちゃんにんにく塩味(調理例)

食肉製造事業については、主要ブランドである「こてっちゃん」の更なる販売強化に向け、TVCMの投入や消費者キャンペーンなどの販促活動を強化します。株式会社フードリエを中心としてハム・ソーセージ事業の再編成を行い、事業運営の効率化と販売のシェアアップを図ります。グループ内の製造と販売の機能をより効率的な形にすることにより、収益構造の改善を図ります。また、消費者の食品安全に対する要求水準の高まりに応え、取り組み3年目となるフードディフェンスの仕組みを更に精緻なものにして行きます。食肉等の小売事業においては、引き続き既存店活性化、新店開発、不採算店閉鎖を継続すると同時に、人材開発のための諸施策や、各種イベントに沿った提案型販売を更に強化していく予定です。

食肉等の外食事業においては、従来からの着実な採算重視の経営を維持しつつ、ステーキレストラン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業を、競争力を持たせながら着実に運営してまいります。

グループ経営の向上については、海外を含めグループ企業の数が増え、グループ内での共同事業も増えつつありますので、それに合せた効率的な管理体制を構築してまいります。またそれらの事業の発展を支えるためには、人材の長期的な育成が必要であります。社員教育制度の充実を

積極的に進め、更なる成長の礎としてまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高3,000億円(前年同期比23.7%増)、営業利益96億円(前年同期比13.9%増)、経常利益100億円(前年同期比13.7%増)、当期純利益54億円(前年同期比6.2%増)を見込んでおります。

中長期的な会社の経営戦略

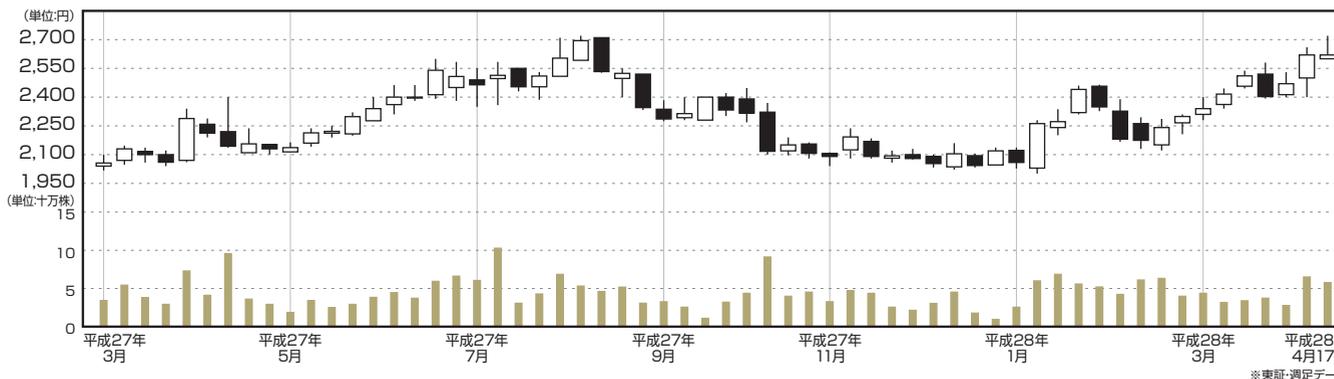
当社グループは、経営の基本方針に沿って食肉の総合企業集団を目指しており、食肉を中心とした食品の安定的な供給体制の確立に引き続き取り組んで参ります。具体的には、食肉の生産、調達、加工、流通、及び最終消費者向け販売・サービスという食肉流通の川上領域から川下領域まで一貫したグループ内食肉サプライチェーンの構築を進めます。更に、国内に留まらず海外における食肉流通機能も拡充することにより、社会情勢の変動への対応力を高めてまいります。

営業成績と財産状況の推移(連結)

区別	第48期 平成26年2月期	第49期 平成27年2月期	第50期 平成28年2月期	第51期見通し 平成29年2月期
売上高	169,253	214,103	242,566	300,000
営業利益	5,683	8,230	8,428	9,600
経常利益	6,127	8,601	8,795	10,000
当期純利益	3,313	4,343	5,086	5,400
総資産	85,643	98,755	114,330	
純資産	43,533	49,768	54,844	
1株当りの年間配当金	26円	28円	32円	35円

単位：百万円(配当金を除く)

●株価の推移と株式の売買高



※東証・選定データ